

# 「戦争」

城南中学校 2年 藤井 美月



この作品をつくった理由は、修学旅行で特攻隊のことについて知り、戦争という悲劇を何か形のあるもので表し、伝えたいと思ったからです。この作品に描かれているものには一つひとつ意味があって、王冠やバラ、カーテンには王様らしさを表しています。左上の様子は宝石っぽいものが王、周りは兵を表して、だんだん前線から崩れていく様子を描いています。鍵穴や鍵には歯があり、指でなくなってしまうようなかぎになっていて、どんな案にも犠牲は必ず出るということを表しています。みどころは、鍵の上で割れたハートになっているところを、背景が炎が今にも動きそうな感じに燃え上がっているところです。また、鍵穴の中の人の瞳もしっかり見てほしいです。